

拓殖大学大学院、研究科・専攻ごとの人材の育成に関する目的 その他の教育研究上の目的

1 経済学研究科 国際経済専攻

博士前期課程

国際経済の分野において根幹となる知識を身につけ、並びにグローバル化社会に必要な専門的知識と実践的即応力を備えた専門的職業人を養成する。

博士後期課程

国際経済の分野において専門的な知識を修得し、自立して研究活動を行う研究者を養成する。

2 商学研究科 商学専攻

博士前期課程

商学の分野において国内外のビジネス活動に必要な専門知識と実践的即応力を備えた専門的職業人を養成する。

博士後期課程

商学の分野において、自立して研究活動を行う研究者を養成する。

3 工学研究科

工学の分野において社会および産業の動向に対応しうる柔軟性と新しい領域を開拓する創造性を持ち、国際性豊かな専門技術者、研究者を養成する。

(1) 博士前期課程

ア 機械・電子システム工学専攻

機械・電子システム工学分野において根幹となる知識および技術を身につけ、急速な技術の進展に柔軟な対応ができ、新たなシステムを構築しうる人材を養成する。

イ 情報・デザイン工学専攻

情報・デザイン工学分野における専門知識と問題解決能力を身につけ、新たな社会価値を提案し実現できる人材を養成する。

(2) 博士後期課程

ア 機械システム工学専攻

機械システム工学分野において根幹となる知識および技術を身につけ、地球環境に優しい機械系システムを創出することにより国際社会に貢献できる人材を養成する。

イ 電子情報工学専攻

電子・情報工学分野における基礎知識と専門能力を身につけ、急速な科学技術の進展に柔軟な対応ができ、国内外において新しい局面を拓きうる人材を養成する。

ウ 工業デザイン学専攻

工業デザイン学における専門知識と問題解決能力を身につけ、社会的要請を具現化することで、国内外で活躍できる創造的な人材を養成する。

4. 言語教育研究科

卓越した言語運用能力を持ち、かつ言語教育に関する高度の専門知識と指導技術・能力を身につけた職業人並びに研究者を養成する。

(1) 英語教育学専攻

卓越した英語運用能力を身につけ、英語教育に関する高度な専門知識と実践的な指導技術・能力を身につけた職業人並びに研究者を養成する。

(2) 日本語教育学専攻

日本語に関する高度な知識を有し、外国語としての日本語教育の高度な専門知識と実践的な指導技術・能力を身につけた職業人並びに研究者を養成する。

(3) 言語教育学専攻

英語及び日本語に関する高度な専門的知識を有し、外国語教育の卓越した専門知識と実践的かつ科学的な指導技術・能力と研究能力を身につけた言語教育分野の貢献できる専門的職業人並びに研究者を養成する。

5. 国際協力学研究科

国際開発と安全保障を連携・相補する分野において自立した研究活動を行う研究者、並びに高度の専門的知識・能力を身につけた専門的職業人をさまざまな分野へおくりだす。

(1) 国際開発専攻

国際開発の理論と実証の訓練を通して、国際開発政策・事業で求められる専門知識と実践能力を涵養する。博士後期課程においては、博士学位に相応しい高度な専門訓練を踏まえて、国際開発分野での指導者を育成する。

(2) 安全保障専攻

安全保障の理論・方法論を学び、学術的・実務的貢献を為し得る専門性を育成する。博士後期課程においては、更に高度な分析力・論理構成力を兼ね備えた博士学位に相応しい専門家の育成を目指すものとする。

6. 地方政治行政研究科

地方の政治や行政に関する高度な専門知識を持ち、総合的な政策立案・遂行能力を備えた人材、さまざまな立場で地域のリーダー的役割を果たす専門職業人を養成する。